インフラメンテナンス
国民会議

インフラメンテナンス国民会議
中部フォーラムＲ５年度活動紹介

中部フォーラム事務局

目次

（1）中部フォーラムの概要

（2）中部フォーラムの活動紹介
　①自治体支援
　③広報活動（大学出前講座）

（3）今後の取組
　①自治体支援、広報活動の継続・発展
　②インフラ維持管理に関する新たな取組支援

中部フォーラムの概要

Japanese Congress for Infrastructure Management

インフラメンテナンス国民会議

平成28年11月28日設立

「インフラメンテナンス国民会議」とは

○インフラメンテナンスに産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして活動しています。

組織体制

■会長
冨山 和彦
株式会社経営共創基盤(IGPI) IGPIグループ会長
株式会社日本共創プラットフォーム（JPiX）代表取締役社長

■副会長
家田 仁
政策研究大学院大学 特別教授

実行委員会
国民会議全体の運営

- **企画部会**：企画等
- **広報部会**：インフラメンテナンスの理念普及、国民会議の広報
- **インフラメンテナンス市区町村長会議**（R4.4.28設立）
  - ・首長同士の意見交換による知見や意識の向上
  - ・トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進
  - ・社会に対するインフランテナンスの必要性の啓発

954の首長が参画
<参画率50%以上！>

※「インフラメンテナンス市区町村長会議」は、行政会員である市区町村の長によって構成

公認フォーラム

- **革新的技術**：オープンイノベーションによる異業種の連携や技術の融合、マッチング
- **自治体支援**：地方公共団体の課題解決、地方公共団体のニーズ・民間企業等のノウハウの情報交換
- **技術者育成**：地域における技術者育成の活動を支援
- **市民参画**：インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開
- **海外市場展開**：海外への情報発信や海外展開案件形成
- **地方フォーラム**：地方におけるオープンイノベーション推進等（全国10ブロック）

目的

①革新的技術の発掘と社会実装
②企業等の連携の促進
③地方自治体への支援
④インフラメンテナンスの理念の普及
⑤インフラメンテナンスへの市民参画の推進

会員数

（令和5年4月30日時点）

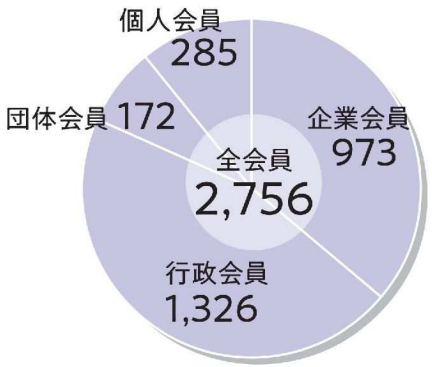
2,760者

行政会員	1,327者
企業会員	975者
団体会員	172者
個人会員	286者

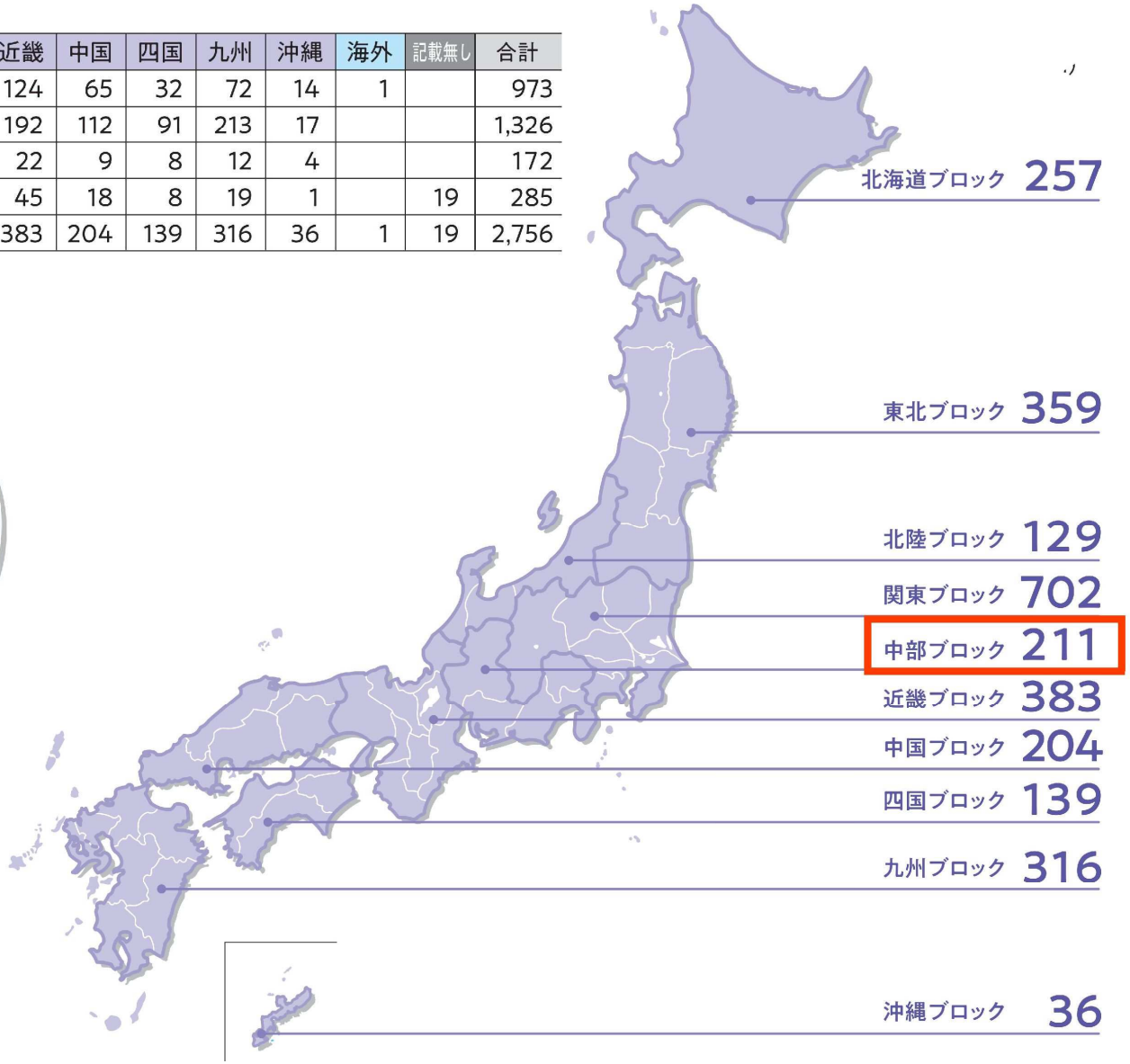
インフラメンテナンス国民会議を構成する地方ブロックと地方フォーラム（10ブロック）

地方ブロック毎 会員数内訳

会員種別	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	海外	記載無し	合計
企業会員数（本社ベース）	59	113	362	50	81	124	65	32	72	14	1		973
行政会員数	180	199	159	62	101	192	112	91	213	17			1,326
団体会員数（連絡先ベース）	3	20	73	9	12	22	9	8	12	4			172
個人会員数（連絡先ベース）	15	27	108	8	17	45	18	8	19	1		19	285
合計	257	359	702	129	211	383	204	139	316	36	1	19	2,756

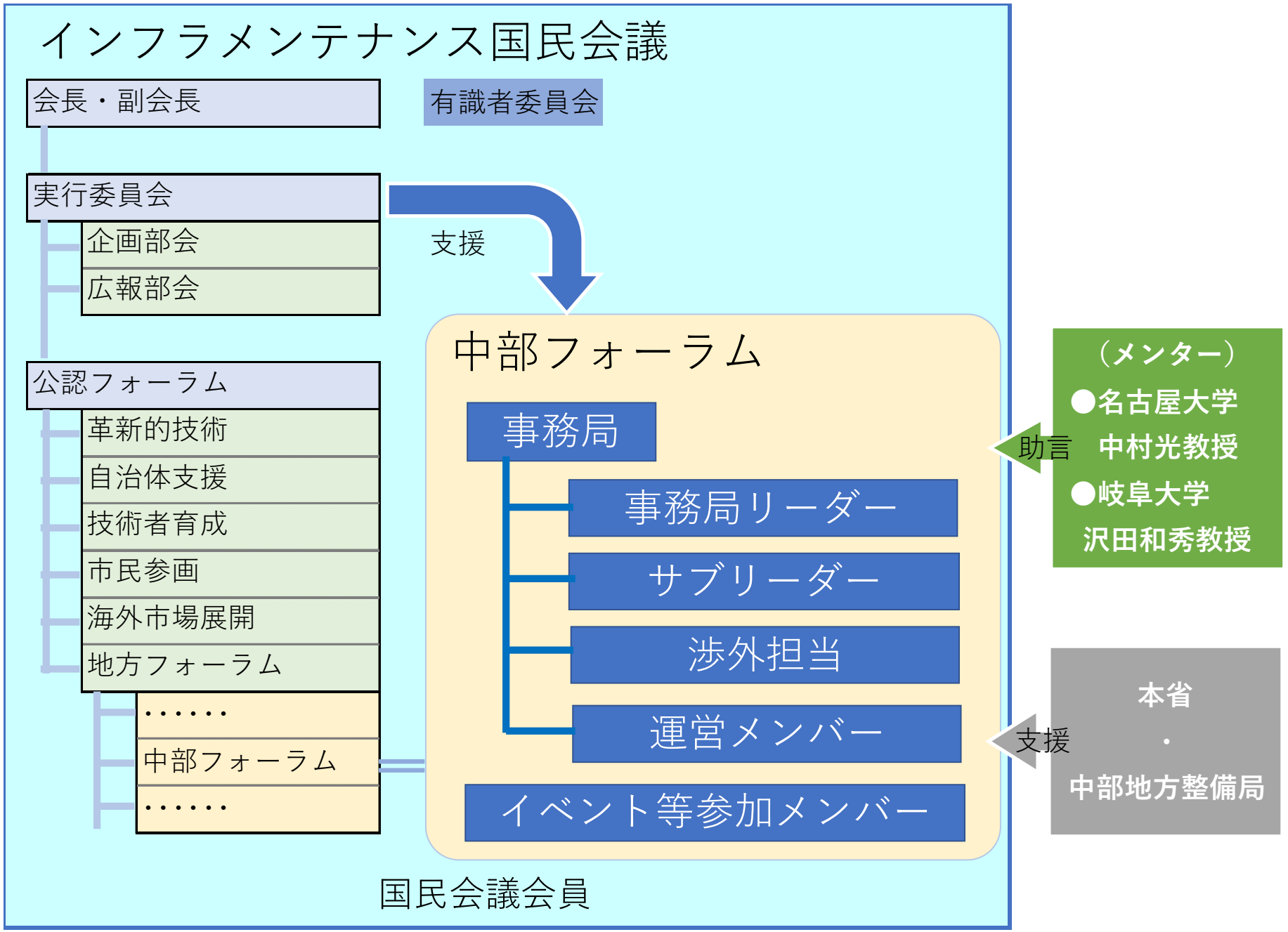


会員内訳（R5.3.31）



※出典：
「インフラメンテナンス国民会議
ファクトブック2022-2023」

中部フォーラムの構成


インフラメンテナンス国民会議
会長・副会長
有識者委員会
実行委員会
企画部会
広報部会
支援
公認フォーラム
革新的技術
自治体支援
技術者育成
市民参画
海外市場展開
地方フォーラム
・・・・・・
中部フォーラム
・・・・・・
中部フォーラム
事務局
事務局リーダー
サブリーダー
渉外担当
運営メンバー
イベント等参加メンバー
国民会議会員
助言
（メンター）
●名古屋大学
中村光教授
●岐阜大学
沢田和秀教授
支援
本省
・
中部地方整備局

中部フォーラムの構成

中部フォーラムは、H30.1.26に発足し、民間企業（12社）で中部地方のインフラメンテナンスの自治体支援のために、ボランティアで活動しています。

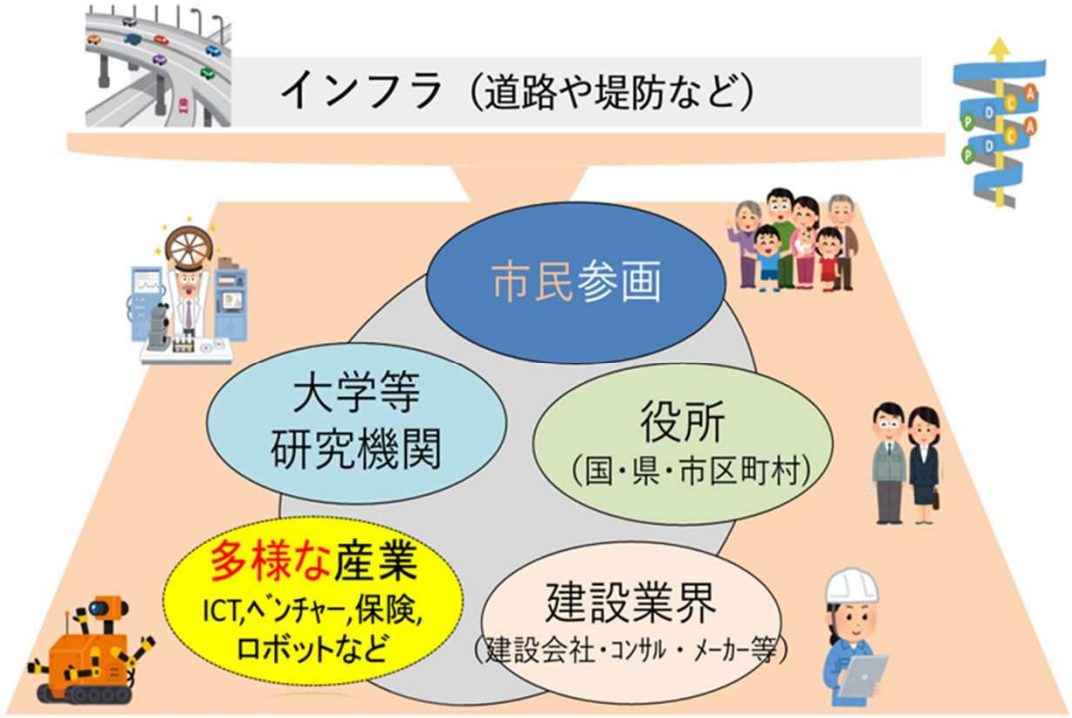
1	(株)オリエンタルコンサルタンツ	
2	大日コンサルタント(株)	
3	日本工営都市空間(株)	リーダー
4	中央コンサルタンツ(株)	サブリーダー
5	(株)テイコク	
6	東亜道路工業(株)	
7	戸田建設(株)	渉外担当
8	ニチレキ(株)	
9	日本工営(株)	
10	(株)フジヤマ	
11	ホーメックス(株)	
12	八千代エンジニヤリング(株)	渉外担当

■オブザーバー(本部実行委員):日本工営(株)
■メンター:中村光教授(名古屋大学)、沢田和秀教授(岐阜大学)

中部フォーラム目標と活動内容

（目標）
①持続可能な社会に向け、国民全体が参加する維持管理体制の構築（インフラメンテの仕組作り）
②魅力あるインフラ市場の実現と市場のスパイラルアップ
③ファンの獲得（次世代の担い手）

（活動内容）
①インフラメンテの課題の把握と共有
②自治体支援
③市民協働の促進、産官学民の連携
④ニーズ×シーズのマッチング支援



中部フォーラムのこれまでの活動

番号	実施日	場所	テーマ
第1回	2018/2/21	名古屋	中部におけるインフラメンテナンスの展開と展望
第2回	2018/7/23	名古屋	インフラ維持管理の課題と包括的民間委託
第3回	2018/10/25	静岡	インフラ維持管理の効率的な知恵と工夫
第4回	2019/2/19	名古屋	持続可能な維持管理の自治体ニーズの深堀
第5回	2019/10/17	名古屋	現場ニーズと技術シースのマッチングイベント(名高速)
第6回	2019/10/30	静岡	インフラメンテナンス時代をサバイブする「公響事業」
第7回	2020/2/12	名古屋	未来にもあたりまえのインフラを！
第8回	2020/11/15	静岡	インフラメンテナンス技術講習会(コラボイベント)
第9回	2021/6/8	名古屋	橋梁の維持管理と実務(東海コン診断士会)
第10回	2021/11/2	名古屋	小規模コンクリート橋の維持管理に関する自治体支援

番号	実施日	場所	テーマ
第11回	2022/6/7	名城大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第12回	2022/10/18	愛工大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第13回	2022/11/16	七宗町	インフラ点検補修DIY現場実習
第14回	2022/7～12	鈴鹿市	新技術を踏まえた橋梁長寿命化修繕計画の改定支援
第15回	2023/2/14	田原市	インフラ点検補修DIY現場実習
第16回	2023/5/30	名城大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第17回	2023/10/23	七宗町	既存不適格橋梁について考える
第18回	2023/10/31	愛工大	大学講座／施設維持管理論
第19回	2023/12/1	大野町	インフラメンテナンス市区町村会議中部ブロック会議(コラボイベント)
第20回	2024/2/6	名古屋	中部フォーラムR5年度活動報告会

凡例：　**講習会**、**ファンの獲得**、**自治体個別支援**、**他機関とのコラボイベント**

活動紹介①

自治体支援

STEP1

オンラインで複数の自治体と維持管理に関する意見交換会(整備局より募集)

STEP2

個別自治体とシーズ×ニーズのマッチングの調整（次のフェーズへ）

STEP3

意見交換会、勉強会、見学会、現場実習(補修DIY)などの継続支援

STEP4（これから）

取組内容の深化・拡張。中部フォーラムとの成功体験の共有と拡散。

中部フォーラムの自治体支援の取組

中部フォーラム×東海コンクリート診断士会の共同開催

■日　時：令和3年11月2日（火）13：30～16：00
■場　所：オンライン開催
■参加者：9自治体・東海コンクリート診断士会・中部フォーラム・中部地方整備局

本会議では、小規模コンクリート橋の維持管理に関する自治体支援」として、下記テーマへの実践に向けて9つの自治体とインターラクティブな意見交換を実施。

■テーマ①：小規模コンクリート橋の損傷傾向を把握し、損傷に応じた補修工事を体験する（補修DIY）。

■テーマ②：小規模コンクリートの直営点検・長寿命化に向けた軽微な維持管理を体験する（点検DIY）

会議の締めくくりでは、次へのステップとして実践に向けた取組可否を各所属へ持ち帰っていただき、点検・補修DIYの継続支援について検討頂いた。

➡その結果….七宗町様より….R4・R5の支援活動へと発展

➡本日の報告会にて詳細を報告。

オンライン風景

中部F×東海コンクリート診断士会の会場風景

活動紹介②

大学出前講座

スモールスタートから拡散へ

大学出前講座（概要）

（1）目的
- 維持管理の実務を紹介して、学生にインフラメンテナンスの実態を理解していただく。
- インフラメンテナンスや土木業界の知名度向上にも繋げる。

（2）実績
①名城大学（R3～）
対象：理工学部社会基盤デザイン工学科4年生
授業：（前期）施設維持管理論
形態：R3動画配信、R4以降は対面形式
講義後にレポートを提出
※授業の1コマで、インフラメンテの重要性の説明、橋梁維持管理の実務紹介を行った。

②愛知工業大学（R4～）
対象：工学部3年生
授業：（通年）セミナー人と技術
形態：対面形式
講義後にレポートを提出
※授業の1コマで、維持管理の実務紹介、土木業界説明を行った。

大学出前講座（愛知工業大学）

■日　時：令和5年10月31日(火)　13：00～14：30
■場　所：愛知工業大学　1号館501号室
■参加者：101名(大学３年生)
<プログラム>
・インフラメンテナンス国民会議 中部フォーラムについて
・土木業界説明(建コン/総合建設業/道路舗装)
・施設維持管理・実務事例紹介
① 調査・設計編
② 施工編（土木一般）
③ 施工編（舗装）

愛知工業大学・土木工学科の3年生を対象に、「3Dセミナー」の1コマを頂き、橋梁維持管理に関する出前講座を行いました。
講義では、橋梁維持管理の現状を説明し、実例を基に点検、補修設計等の実際の業務について説明を行いました。
受講後のアンケート回答では、多くの学生から「参考になった」との回答を頂き、今回の出前講座が有意義であったことが確認出来ました。

講義風景

今後の取組

①支援・広報活動の継続
②インフラ維持管理に関する新たな取組へ

インフラ維持管理を取り巻く背景(橋梁維持管理をイメージ)

背景：道路施設を主とした社会インフラの多くが老朽化を迎える中、適切な維持管理のもと、これらを効率的かつ安全に運用することが社会的な要請となっている。

道路管理者	施工会社	建設コンサルタント
①人材不足 ②財政的負担増 ③技術不足	①修繕工事の低収益性 ②修繕工事の突発性 ③担い手不足	①点検の低収益性 ②技術者の拘束 ③事故リスク
安定的なインフラサービスの維持が課題？	インフラ産業の安定的な発展が危惧？	効率的な点検への展開（コンサルの役割の変化）

インフラ分野に関わる産官（学民）が連携し、新しい維持管理体制の構築が必要

課題を踏まえた新たな取組へ

R5.12月の中部ブロック会議（@大野町）での投げかけ（アンケート）

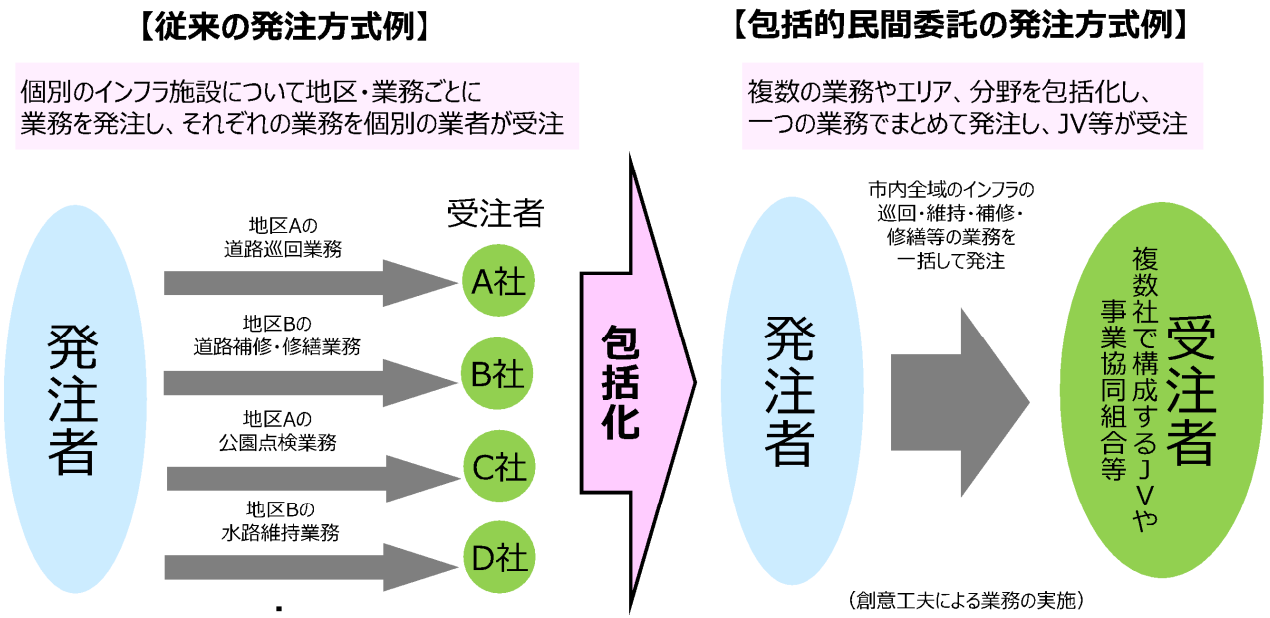
「インフラ群を包括的に維持管理」する新たな試みについて、中部フォーラムと勉強会などの取組を始めませんか？

に対し、愛知・岐阜・三重・静岡の多くの自治体（18の市町村）から勉強会の参加希望を頂いております。

多くの自治体の方がインフラ維持管理の課題に対し、包括的な維持管理に興味を持っておられることが分かりました。

具体はこれからですが、今後は「包括的な維持管理」に向けた取組にも着手したいと考えています。

皆様からのご支援をお願いします。



詳しくは本報告会「包括的民間委託の実践に向けて」を聴講ください。

令和５年３月22日　総合政策局公共事業企画調整課　Press Releaseより

まとめ

本日の報告会が皆さまの今後の業務の参考になれば幸いです。

この後、有益なご講演やご報告が続きますので、楽しみにご聴講ください。

ご清聴ありがとうございました。